

第26回 東京芸術文化評議会

東京はアート力を磨いている。
それは私たちのこれからを描く力だ。
それは違いを受け止め、通じ合おうとする力だ。

2020年。
東京はその力を世界に示したいと思う。

伝統と現代が、
そして世界の文化が交差する
東京だからできること。

Tokyo Tokyo FESTIVAL
それは、アートでつながる
未来とつながる文化の祭典。

THE FUTURE IS ART
文化でつながる。未来とつながる。

TokyoTokyo
FESTIVAL



Tokyo Tokyo FESTIVAL の展開について

○東京2020大会まで間もなく500日となるタイミングをとらえ、そのコンセプト をより分かりやすく伝えるため、コピーとステートメントを作成

○これらのコピーやステートメントを活用したビジュアルデザインも作成し、今後、ポスターやグッズなどに使用し、展開

○主要駅や電車内なども使いながら、集中的なプロモーションを効果的に実施するなど、更なる盛り上げを図っていく

○Tokyo Tokyo FESTIVALの象徴的な事業である企画公募事業についても、2020年に向けて継続的に世間から注目されるよう、効果的な手法や時期を工夫しながら発表していく

文化でつながる。未来とつながる。

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

Tokyo Tokyo FESTIVAL コンセプトコピー・ステートメント等について

コンセプトコピー

・日本語

文化でつながる。未来とつながる。

(意図)

東京独自の芸術文化を通じて、言語や国籍の違い、障害の有無等を超えて、人々がつながり、それが未来へとつながっていくイメージを表現。

・英語

THE FUTURE IS ART

(意図)

「アートには将来がある」、
「アートこそが進むべき道を示してくれる」
という意味を含め、未来への希望をイメージして表現。

<参考>アイコンと組み合わせた展開例

文化でつながる。未来とつながる。

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

THE FUTURE IS ART

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

ステートメント

東京はアートの力を信じている。

それは私たちのこれからを描く力だ。

それは違いを受け止め、通じ合おうとする力だ。

2020年。

東京はその力を世界に示したいと思う。

伝統と現代が、

そして世界中の文化が交差する

東京だからできること。

Tokyo Tokyo FESTIVAL

それは、アートでつながる

未来とつながる文化の祭典。

ビジュアルデザイン

文化でつながる。
未来とつながる。

東京はアートの力を信じている。
それは私たちのこれからを導く力だ。
それは未来を繋ぎ止める、結び合おうとする力だ。
2020年、
東京はその力を世界に示したいと思う。
伝統と現代が、
そして世界中の文化が交差する
東京だからできること。
Tokyo Tokyo FESTIVAL
それは、アートでつながる
未来とつながる文化の祭典。

THE
FUTURE
IS
ART



Tokyo Tokyo
FESTIVAL

THE FUTURE IS ART

文化でつながる。未来とつながる。

Tokyo Tokyo
FESTIVAL



THE
FUTURE
IS
ART



文化で
つながる。
未来と
つながる。



東京はアートの力を信じている。
それは私たちのこれからを導く力だ。
それは未来を繋ぎ止める、結び合おうとする力だ。
2020年、
東京はその力を世界に示したいと思う。
伝統と現代が、
そして世界中の文化が交差する
東京だからできること。
Tokyo Tokyo FESTIVAL
それは、アートでつながる
未来とつながる文化の祭典。



Tokyo Tokyo
FESTIVAL

広報展開

- 展開時期：2月・3月の各一定時期
- 展開予定場所：新宿駅（京王・小田急・西武各線）、渋谷駅（東急・京王各線）、立川駅（JR）など
- 展開する媒体：駅構内デジタルサイネージ、ポスター、トレインチャンネル、街頭ビジョン

（京王線新宿駅構内での展開）



（東急田園都市線渋谷駅構内での展開）



※ 3月末にプロモーションイベント第2弾も実施予定

Tokyo Tokyo FESTIVAL企画公募 概要

【2/1発表 5件】

SYN LIGHT DANCE IN TOKYO ～東京の未来を視る	ライゾマティクス
<p>東京ならではの都市型パブリックアートイベント。 開催場所、および周辺都市環境を利用して、新しい音と光を用いた参加体験型インスタレーション+ライブイベントを実施します。 リオ2016大会閉会式における東京2020大会プレゼンテーションのAR表現やプロジェクション映像、演出技術開発を手がけたライゾマティクスが独自に研究開発してきた、最新のメディアテクノロジーと通信技術の革新を組み合わせた実験的なアート空間の創出をめざします。</p>	
世界無形文化遺産フェスティバル	公益社団法人全日本郷土芸能協会
<p>世界から無形文化遺産が集結するフェスティバル。 世界各地に伝承されている伝統文化や芸能を集めて披露し、人々の交流を通じて文化の多様性と共生の意義を伝え、文化の未来への継承につなげます。</p>	
DANCE TRUCK TOKYO	全日本ダンストラック協会
<p>トラックを舞台として東京全域をめぐる移動型のパフォーマンス公演。 ソーラーパネルを設置したトラックを含めた輸送トラックの荷台を使用し、トラックの移動性や機動力を生かしたモバイルのダンスプロジェクト。区部・多摩地域・島しょの街中で展開します。トラックの空間を身体／光／音で一体となる装置に変容させ、周りの環境とも呼応するパフォーマンスで、見慣れた都市の風景を一変させます。</p>	
TOKYO SENTO Festival 2020	TOKYO SENTO Festival 2020実行委員会
<p>銭湯を舞台にしたアートプロジェクト。 アーティストが浴場内のペンキ絵を手掛けるほか、銭湯を新たなタイプのイベント会場として活用することで、伝統的な人々の憩いの場・コミュニティーである日本独自の銭湯の魅力を世界に発信していきます。</p>	
まさゆめ	目/[mé]
<p>世界中から募集して選んだ、ただ一人の「顔」を東京の空に出現させるアートプロジェクト。 世界中から集まった顔の中から、一人を選び、その顔の巨大なオブジェを制作して2020年の東京の空に浮かべます。浮かべるべき一人の顔を選定するプロセスの中で、人々との対話を通じ共にプロジェクトの意味や本質について考えるとともに、個であることと同時に公である我々の存在を見つめなおし、その不思議や実感をあらためて人類に問う企画です。</p>	

Tokyo Tokyo FESTIVAL企画公募 概要

【今後発表予定 8件】

<u>The Constant Gardeners</u>	<u>Jason Bruges Studio (イギリス)</u>
ロボット工学と日本の庭園文化、そしてスポーツを融合させた大型インスタレーション。	
<u>The speed of light</u>	<u>Marco Canale (アルゼンチン)</u>
東京の街を舞台に、高齢者の記憶と夢に寄り添いながらストーリーが展開していくツアー型の演劇作品。	
<u>隅田川怒涛</u>	<u>特定非営利活動法人トッピングイースト</u>
江戸期の華やかな「営み」の場としての隅田川の現代における意義を再考する参加型音楽・アートフェスティバル。	
<u>TOKYO REAL UNDERGROUND</u>	<u>特定非営利活動法人ダンスアーカイヴ構想</u>
東京の地下空間で行われる、アンダーグラウンド芸術【舞踏/Butoh】のフェスティバル。	
<u>パビリオン・トウキョウ2020</u>	<u>パビリオン・トウキョウ2020実行委員会 (ワタリウム美術館)</u>
東京各所にパビリオンを展開し、最先端の日本建築のショーケースとなるプロジェクト。	
<u>放課後ダイバーシティ・ダンス</u>	<u>ADD実行委員会</u>
学校や地域と連携し、舞踊を創る楽しさを共有する新たな地域文化のプラットフォームを創出。	
<u>漫画「もしも東京」展</u>	<u>漫画「もしも東京」展実行委員会</u>
有名漫画家が描く様々な東京の姿が並ぶ展覧会。	
<u>【サプライズ発表予定案件】</u>	
?	

東京都現代美術館のリニューアルオープンについて

東京都現代美術館は、約3年にわたる大規模改修工事による休館を経て、平成31年3月29日(金)にリニューアル・オープンいたします。



■経年劣化への対応・機能の改善

空調をはじめとする各設備機器の更新、館内の床・壁・天井の全面的な内装更新を行うとともに、天井の耐震化を行いました。また、照明のLED化等による環境負荷低減を実施しました。



展示室LED照明



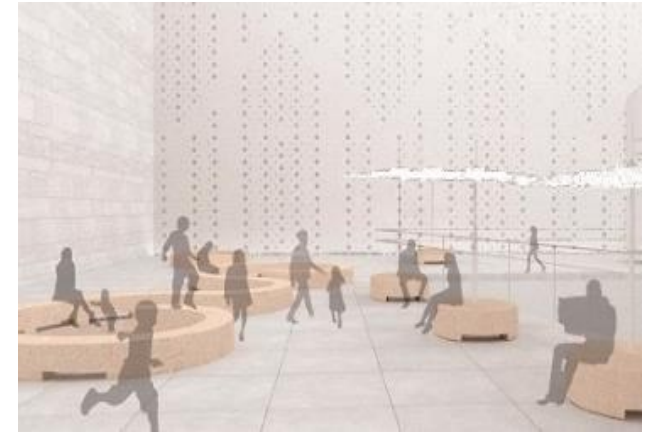
エントランスホール(イメージ)

■利用者サービスの向上

展示室内エレベーターの増設、多目的トイレの拡充といったバリアフリーの向上、トイレ内ベビーベッド、ベビーチェア等の子育て支援設備の充実、美術図書室の子供向けコーナーの拡張、中庭へ出入りできる扉を新設し建物内外を巡ることができる動線を再整備しました。



企画展示室内エレベーター



中庭(イメージ)



美術図書室の子供向けコーナー拡張

■リニューアル・オープン記念展覧会

リニューアル・オープンを記念した展覧会を2展同時開催します。
また、スタンプラリーや和太鼓演奏などの記念イベントを実施します。

平成31年3月29日(金)～6月16日(日)※3/29初日は入場無料。20時まで開館時間を延長

- ・「百年の編み手たち － 流動する日本の近現代美術 －」（企画展示室）
- ・「MOTコレクション ただいま／はじめまして」（コレクション展示室）



齋嘔《田園》1956



中園孔二《無題》2012

パリ東京文化タンデム2018について



パリ東京文化タンデム2018 東京都が実施する事業ラインアップ一覧

実施日程		会場	事業名
2018年9月8日(土) ～2019年3月10日(日)	パリ	アル・サン・ピエール 美術館	展覧会『アール・ブリュット ジャポネⅡ』
2018年11月1日(木) ～2018年11月6日(火)	パリ	パリ市庁舎前広場	『FUROSHIKI PARIS』
2018年11月2日(金) ～2018年11月3日(土)	パリ	パリ日本文化会館	からくり人形の動態展示
2018年9月28日(金) ～2018年9月30日(日)	東京	東京芸術劇場	ショーケース公演 『間 エチュード』 (MA étude)
2018年10月6日(土) ～2019年1月14日(月・祝)	東京	東京都庭園美術 館	展覧会 『エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し』
2018年10月17日(水) ～2018年10月21日(日)	東京	渋谷・代官山など	複合文化イベント 『Saison Rouge ～Weekend in Paris-Tokyo』
2018年10月27日(土) ～2018年10月28日(日)	東京	東京芸術劇場	演劇公演『ガラスの動物園』
2018年10月27日(土) ～2018年10月29日(月)	東京	東京芸術劇場	ライブ・アート・パフォーマンス『ダーク・サーカス』
2018年11月11日(日) ～2018年11月26日(月)	東京	東京都美術館	現代工芸品展覧会 『Création sous influence -響き合う創造-』
2018年11月9日(金) ～2018年12月16日(日)	東京	新宿駅西口	大学生の東京・パリのポスターコンテスト
2018年12月16日(日)	東京	東京芸術劇場	海外オーケストラ公演『パリ管弦楽団』

パリにおける事業

FUROSHIKI PARIS

2018年11月1日(木)-2018年11月6日(火)

パリ市庁舎前広場、パリ日本文化会館

- 主催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団、風呂敷プロジェクト実行委員会
- 共催: 独立行政法人国際交流基金、一般財団法人自治体国際化協会



パビリオン外観

Sogendo Inc.

●集客数 85,685人

パリ市庁舎前 78,085人 (パビリオン入場者数21,275人 石像観覧56,810人)、パリ日本文化会館 7,600人



Photo: Yujiro Ichioka (TAM.inc)



パビリオン内の様子



市庁舎まわりの像のふろしきインスタレーション



都知事、パリ市長、オリンピック・パラリンピック遠藤会長代行等による視察

- メディア掲載等 140件
報道 99件（フランスメディア 73件、日本メディア 26件、現地取材101名）
主催者、協賛各社等による広告、ホームページ、SNS等 41件

展覧会『アール・ブリュット ジャポネⅡ』
2018年9月8日(土)-2019年3月10日(日)
アル・サン・ピエール美術館

●主催:東京都、パリ市立アル・サン・ピエール美術館、社会福祉法人愛成会



●来場者数 約4万人 (2018年12月末時点)



からくり人形の動態展示
2018年11月1日(木)-2018年11月6日(火)
パリ日本文化会館

●主催:東京都江戸東京博物館(公益財団法人 東京都歴史文化財団)、東京都



●来場者数 1,006人



東京における主な事業

展覧会『エキゾティック×モダンアール・デコと異境への眼差し』

2018年10月6日(土)-2019年1月14日(月・祝)

東京都庭園美術館

●主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会



●入場者数 44,907人

複合文化イベント『Saison Rouge ~Weekend in Paris-Tokyo』
2018年10月17日(水)-2018年10月21日(日)
アンスティチュ・フランセ東/WWWShibuya/Trunk Hotel ほか

●主催：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、株式会社エフ・イー・ユー、株式会社ランブリング・レコーズ



●集客数 約2,300人

大学生の東京・パリのポスターコンテスト 2018年11月9日（金）-12月16日（日） 新宿スバルビル

●主催：東京都、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本



現代工芸品展覧会『Création sous influence -響き合う創造-』

2018年11月11日（日）-11月26日（月）

東京都美術館

●主催：東京都



●来場者数 6,004人